

# 高規格材鉄骨製作支援制度

## 3 工場に高規格材適合工場の「確認書」を交付

### 全国鐵構工業協会

全国鐵構

工業協会

(会長) 米

森昭夫・ヨ

ネモリ会

長)の「高

規格材鉄骨

製作支援委

員会」(委

員長) 田中

淳夫・宇都

宮大学名誉

教授)は、

7月までに

申請3工場

の「確認書」

を委員長名で

交付した。



田中委員長

「確認書」の交付工場は

千代田興業(秋田県)、ヨ

ネモリ(石川県)、竹原鉄工

所(北海道)のHグレード

3工場で、それぞれ6月11

日付、6月19日付、7月18

日付で発行された。確認書

番号は順にJSFA-00

1から003となっている。

高規格材鉄骨製作支援制

度は、550N鋼の適用物

件の増大に対応したもので、

ファブが550N鋼適用

鉄骨の製作に関して十分

な技術力と品質管理能力

を保有することを設計者

らに説明し、工事ごとに

実施している溶接施工法

試験の省略を支援する制度。

鉄骨工事の円滑化を図る目

的で今年3月から運用され

ている。

申請ファブから提出され

た「550N鋼適用鉄骨の

製作能力説明書」の審査に

ついては田中淳夫委員長、

松井千秋・九州大学名誉教

授、吉敷祥一・東京工業大

学准教授の学識者3名で構

成される審査専門委員会が

行い、その内容が製作能力

説明ガイドラインに適合し

ていることを確認した。

また、現在、6工場が申

請準備中にある。全構協で

は今後も550N鋼適用物

件の増大に伴い、同製作支

援制度の活用も増えるもの

と見込んで、申請を呼びか

けている。

なお、全構協のHP

(<http://www.jsfa.or.jp>)

で製作能力説明ガイドライ

ンなど申請書類がダウンロ

ードできるようになってい

るが、「高規格材適合工場

についても順次公表してい

く」(全構協)としている。